

平成 23 年 11 月 4 日

受益者の皆様へ

DIAMアセットマネジメント株式会社

当社ファンドの基準価額下落について

以下の通り、当社のファンドにおいて基準価額が大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

1. 基準価額および下落率（11月2日現在）

ファンド名	基準価額(円)	11月1日比(円)	下落率
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <ブラジルリアルコース>	8,359	466	5.28%

(ご参考)

ファンド名	基準価額(円)	11月1日比(円)	下落率
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <南アフリカランドコース>	7,763	381	4.68%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <豪ドルコース>	9,614	453	4.50%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <ロシアルーブルコース>	8,189	339	3.98%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <インドルピーコース>	8,271	304	3.55%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <円コース>	10,174	236	2.27%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <米ドルコース>	8,973	200	2.18%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <中国元コース>	9,197	196	2.09%

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

2. 市場の動向

10月下旬、欧州債務問題の解決に向けて、民間銀行は保有するギリシャ国債の50%減免に合意し、EU（欧州連合）は、ギリシャに財政赤字の削減に向けた改革を求め、ギリシャ政府と合意しました。また、債務危機の波及を防ぐため、EFSF（欧州金融安定基金）の拡充を承認するなど、包括的なギリシャ支援策が合意され、債務危機の解決に向けた進展が見られました。しかし、10月31日にギリシャのパンドレウ首相は、追加支援受け入れの条件としてEUに求められた赤字削減のための緊縮財政政策に同意するかどうか、国民投票を実施するとの考えを表明し、大きな波紋を呼びました。ギリシャへの追加支援は、財政改革の実行が条件となっていますが、ギリシャ国内では緊縮財政に対する反発が強いため、国民投票の結果、追加支援が実行できず、ギリシャがデフォルト（債務不履行）に陥るとの観測が高まり、欧州債務問題に対する懸念が再燃しました。これを受け、11月1日の主要株式市場は大きく下落し、不動産証券関連市場も同様に下落しました。

為替市場では、欧州債務問題に対する懸念の高まりを受け、再びリスク回避の動きが強まり、新興国通貨を中心に下落しました。特に、ブラジルレアルが大きな影響を受け、対円での下落幅が大きくなりました。

主要指数	終値 (11月1日)	10月31日比	下落率
FTSE EPRA/NAREIT 先進国 REIT インデックス (円ベース、配当込み、為替ヘッジなし)	767.81	25.37	3.20%
FTSE EPRA/NAREIT 新興国 インデックス (円ベース、配当込み、為替ヘッジなし)	1,412.86	53.68	3.66%

(基準価額への反映を考慮して11月1日の値および下落率を表示しております。)

3. 今後の見通し

金融市場では、EUの債務問題解決に向けた包括支援策の合意により、悲観的な見方が後退していましたが、ギリシャ情勢の混乱から先行き不透明感が再び高まりました。これに対し、11月3日にECB（欧州中央銀行）は政策金利を引き下げ、欧州の信用不安や景気減速に対応する政策へと転換しました。一方で、不動産関連証券市場は利回り水準が上昇し、他資産に比べ健全な投資環境となっています。依然として、短期的には欧州債務問題の進展や投資家心理などが市場の動きを左右し、変動の激しい展開が続くと思われます。しかしながら、不動産関連証券のファンダメンタルズやバリュエーションは良好であることに変わりはなく、長期的には魅力的な投資機会を提供していくものと考えています。

以上

“FTSE”及び“FTSER”は、ロンドン証券取引所(London Stock Exchange Plc)並びにフィナンシャル・タイムズ社(The Financial Times Limited)の商標であり、ライセンスに基づいてFTSEが使用しています。FTSE EPRA/NAREIT各インデックスは、FTSEの商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利はFTSE又はその関連パートナー会社に与えられています。FTSEは、本指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。また、算出又は公表の誤謬、遅延または中断に対し、一切責任を負いません。

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

[お申込みに際しての留意事項]

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式・公社債及び不動産投信(リート)等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては 投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧下さい。

投資信託に係る費用について

ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

お客様が直接的に負担する費用

購入時手数料： 上限 3.675% (税込)

信託財産留保額： 上限 0.5%

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)： 上限 1.995% (税込)

その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。

[本資料のお取扱いについてのご注意]

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、株式・債券及び不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料における内容はあくまでも作成時点(2011年11月4日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会